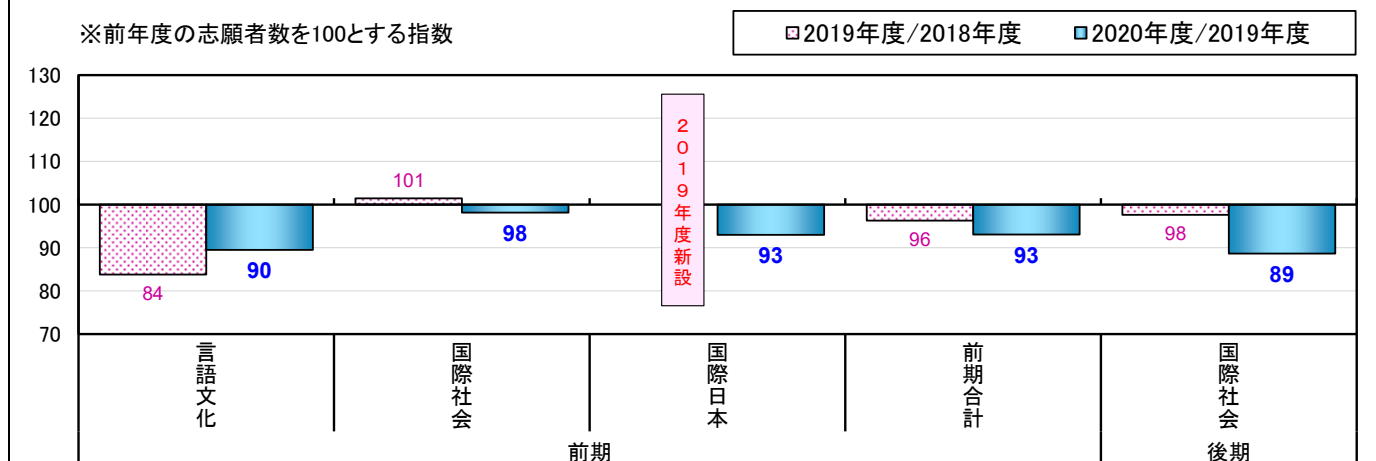


## 2020 年度入試状況分析【国公立大】

東京外国語大：前期志願者数は5年連続減少

前期：-126人 後期：-186人



**COMMENT** ※ ( ) 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は126人(93)のやや減少で5年連続減少。前期合計の志願倍率は3.1倍→2.9倍と3倍を下回った。国際社会のみ募集の後期は、186人(89)の減少で5年連続減少。志願倍率は29.3倍→25.9倍とダウンしたが、それでも25倍を超える厳しい競争が続いた。

**<前期日程>**

- 言語文化(90)は、3年連続減少、志願倍率も3.4倍→3.1倍にダウン。専攻言語別では、欧米系言語合計(ロシア語含む)(94)は4年連続減少、志願倍率も3.0倍→2.9倍とわずかにダウン。アジア・中東系言語合計(85)は3年連続大幅減少、志願倍率は3.9倍→3.4倍にダウン。
- 国際社会(98)は、微減だが再び減少に転じた。専攻地域別では、欧米地域合計(92)は前年度大幅増加の反動から減少。それ以外の地域合計(104)はやや増加で、2016年度以降前年度の反動による増減が続いている。
- 新設2年目の国際日本(93)は、減少。志願倍率も3.3倍→3.0倍にダウン。